

携帯電話 雑感

2012 年現在、携帯電話はほとんど全ての国民が所有し、使用している。
私の身の回りでも、80 歳代の老人から小学生低学年児童まで、多くの人が使用している。

私が使ってきた携帯を例に、携帯の歴史を振り返ってみたい。

----- 日本の携帯 -----

<携帯が生まれた日>

日本では、大阪万博(1970 年)で公開されました。

<最初は自動車電話として>

1979 年に自動車電話としてサービスが開始されました。

なにしろ大きくて重く、バッテリーなんて無理な時代ですから、電源の安定する自動車用として普及しました。
当時の自動車電話は、新規加入料 8 万円の他に保証金が 20 万円も必要でした。

<ショルダー型>

1985 年にやっと持ち運べる電話として、ショルダーホンが発売されました。

<いよいよ携帯に進化>

1991 年になると、NTT ドコモから「ムーバ」シリーズが発売されます。

今では考えられないことですが、当時は携帯電話を購入するのに保証金が必要でした。
その他にもまだ新規加入料も残っていました。

<今の制度と同じように>

1994 年になると、「ツーカー」などの新規参入の電話事業者も増えました。

現在と同じ携帯端末の買取制が開始されて、家電量販店なども販売に参入、一気に普及し始めます。
なにしろ 携帯電話＝端末も通話料金も高い、会社を買うもの、金持ちが買うもの、だったのですが、普通に個人で買える時代へ大きく変化しました。

普及し始まって 20 年、今や携帯のない生活なんてムリですな。

----- 私の携帯の歴史 -----

<最初は PHS>

1995 年(平成 7 年)、仕事で出張することが多くなり、いよいよ私も携帯を買いました。

記念すべき最初の一台は、PHS でした。当時は NTT グループが NTT パーソナルとして PHS 事業を開始したばかりで、通話料金を含めて、携帯電話よりも安価で買いやすかった記憶があります。

当時はまだまだ携帯電話を持っている人は少なく、仕事で掛ける場合も圧倒的に固定電話が多かったので、固定電話への通話料が安い PHS はとても便利でした。

なにしろこの頃は、ポケットベルが当たり前で、呼び出されると公衆電話へ、っていう時代だったので、外出先で公衆電話を探さないで済む、って凄く便利でした。いよいよ俺も携帯電話かぁ、って感動もアリ。機種は、Panasonic の 101P で、確か 1~2 万円だったような. . .



<アナログ・ドコモ関西>

困ったことに PHS は田舎やクルマ(時速 40km 以上)での利用がほとんど出来ませんでした。

関東も東京から離れると主要国道沿いしか通話できない、とか。

結局、通話料が少々高くても、ということでアナログの携帯電話に替えました。

1996 年(平成 8 年)だったと思いますが、この頃はドコモも地域別になっていて、地域会社によって端末価格が大きく違ったんですね。

出張先の大阪で、ドコモ関西オリジナルの端末が、東京よりもずっと安価で購入できました。

KYOCERA 製で、1 万円くらいだったかな。東京は安くても 3 万円程度だったように記憶しています。

アナログの「ブツッ. . .」っていうノイズも懐かしい、丈夫な機械で長持ちしました。大きくて重かったですね。

(アンテナ伸ばしてウロウロした時代を思い出します)

* 写真は同型機種ですが IDO 用です。



<いよいよ デジタル化>

アナログ電話は気に入って使っていましたが、バッテリーが寿命になってきて、諦めました。

時代はアナログからデジタルへ、ということでデジタルムーバの P153 を使っていた時期があったと記憶しています。

シティフォンっていうエリアが狭いけど、料金が安い、というモデルでした。確か 1998 年(平成 10 年)購入。



<デジタルならIDO、ってことで移動>

デジタルのエリアならIDOのほうがいい、というウワサがあって、1999年(平成11年)に乗り換えました。

IDOも当時のデジタルはPDC方式で、特に他社と比較していい、というほどではありませんでした。

いろいろ迷った挙句、わずか数ヶ月でまたドコモへ。

まだデジタルでも携帯にアンテナがあった時代ですね。たしか端末は、ゼロ円でした。

機種はなんだったか、あまり記憶が残っていません(デジタルミニモ、でしたね)。

<またドコモへ>

1999年11月(平成11年)、ドコモに戻りました。このときから現在まで同じ番号を利用しています。

機種は、デジタルムーバのF501Hyper、まだモノクロ液晶だったんですよね。

iモードが始まって、ショートメールでなくてインターネットメールが出来るようになったことは大きな変化で、〇〇〇@docomo.ne.jpのメールアドレスで、パソコンとも普通にメールのやり取りができるようになりました。

このころまで携帯では音声通話のみ、という時代でしたが、iモードでネット端末へと変わり始めました。

でも、まだまだ一般的には音声通話が主流で、メールもショートメール(SMS)のユーザーが多かったです。



<カラー液晶モデルへ>

2001年(平成13年)年末、カラー液晶モデルが安くなってきたので、デジタルムーバF211iへと買い替え。

このころになると、携帯の主流は折りたたみ型になってきていてストレートが少なくて...

数少ないストレートとして富士通が頑張ってくれていました。

http://k-tai.impress.co.jp/cda/article/showcase_top/7638.html インプレッ

ションでも、ストレート型携帯の少なさを嘆いていますね。

ドコモの携帯にカメラが付くのはこの後ですね。



この頃から、iモードのサービスも充実してきて、交通情報なども提供されて便利になりました。

基本的に、iモードは HTML だったので、表示サイズを合わせて作れば、簡単にiモード用のホームページが作成できたので、便利でした。

自分の情報ボックス的なホームページを作って、忘備録として利用したり、ネットのストレージを意識するようになった切っ掛けとなった感じがします。

iモードで会社とのやり取りもメールに移行しました。

音声通話しかなかった時代からいよいよネット時代へと、多くの人の変化を意識し始めました。＜写メールをやってみたくて＞

当時、J-phone しか出来ない、PC への直接「写メール」をやりたい、携帯を買い増しました。

(J-phone → vodafone → ソフトバンク)

J-SH07 という最新機種で、この頃の機種になると、かなりたくさんの記録がネットに残っています。

http://k-tai.impress.co.jp/cda/article/showcase_top/5309.html 確か、

2002 年(平成 14 年)の購入でした。

この機種から、携帯で撮った写真をネットで送る、が始まったって感じです。

(いわゆる「写メ」ですね)

カラーカメラ付き(10 万画素!)、java 搭載、なにかと話題になった携帯でした。この携帯で撮影した写真が残っていますが、今となってはトイカメラ以下ですね。

この後しばらく主流となるデザインもこの機種から、パカパカ(折りたたみ)に背面カメラ、です。



この写メ、という行為はその後のネット利用の形のひとつのスタンダードになりました。

いい意味でも悪い意味でも、「その場の証拠写真が世界中にバラまかれる」ということを標準化してしまった感があります。

ちょっと前までは、アナログのフィルムをプリントしてスキャンしてパソコンからインターネット経由で送る、という作業が、携帯で撮影してそのまま送れる、ということになり、その便利さから一気に普及しました。＜防水携帯へ取替え ムーバ最後の機種＞

2003年（平成15年）、趣味である磯釣りにも持っていけるように、と防水のタフな携帯に替えました。

R692i、時代はそろそろカメラ付きという感じでしたが、これはカメラなし。

平日など、仕事の電話があるときでも釣りに行けて助かりました（って、オイオイ）。

http://k-tai.impress.co.jp/cda/article/showcase_top/10594.html とりあえ

ず液晶は小さくてもカラーだし、iモードも普通に使えました。

これがムーバ（デジタルムーバ）最後の機種となりました。

水に落としても浮くし、便利な携帯でした。特徴のある携帯が多かった、メーカーが元気な時期でしたね。



確か、このころに女房が携帯を持つようになった記憶がありますね。

SH251i かな、カメラ付き携帯でしたね。

http://k-tai.impress.co.jp/cda/article/showcase_top/9651.html

この頃になると、ほとんどの社会人が携帯を持つようになりました。

人口普及率で 6 割を超えて、いよいよ電話するのは携帯宛、が普通になってきました。

<いよいよ FOMA に>

2004 年(平成 16 年)になると、FOMA が普及し始めました。当初は端末が高い、バッテリーが持たないなど、不評でした、が. . .

でも、FOMA は通信速度が 384kbps で当時では速かったうえに、バッテリーの持ちも改善されてきました。

それにいよいよ携帯のカメラが進化して、画質が良くなり動画も撮影できるようになってきたのも大きな要因でしょうか。携帯にメモリーカードが当たり前、コンデジとの競合が激しくなってきました。

このころはデジタルカメラも大きく進化して、各メーカーが競い合うように新商品の開発・発売ラッシュでした。

そんな中、カメラ機能を充実させて発売になったのが、P900iv でした。

http://k-tai.impress.co.jp/cda/article/showcase_top/19414.html



この携帯は、ほぼデジタルカメラといってもいい仕様で、大容量の miniSD カード対応でした。

私も、128MB の miniSD を入れて使っていました。

特に、画面を回転させるとビデオカメラと同じように撮影が出来て、ずいぶん使いました。

このころになると、i モードを中心に携帯向けのサービスも一気に増えて、一般化しました。

各種の情報サービスや会員向けサービスなども出てきて、街のあちこちでメールする若者の姿が増えました。

当時はまだ ISDN しかない地域もあり、固定回線よりも FOMA のほうが速い、なんてこともありました。

固定回線の代わりに携帯回線を、ということが意識され始めた時代ですが、一般的な契約ごとには固定回線の番号が必要な時代でした。

その後、すべての契約ごとは携帯回線でも大丈夫な時代へと変化していきます。

(銀行口座の開設や保険やアパート契約など、今ではほぼすべての契約が可能ですね)

<Windows ケータイ誕生 でも PHS>

携帯は凄い速度で進化しましたが、まだまだパソコンとは別のものでした(そこまでの性能は無かった)。

パソコンショーなどでは、ノートパソコンの小型のものが通信モジュールを内蔵して出展されたり、と未来の姿がなんとなく、見えてはいましたが. . .

そんな中、とうとう 2005 年(平成 17 年)発売されたのが、Windows の組み込み用バージョン WindowsCE を採用した、Windows ケータイ、でした。

この OS は、いわゆる PC 向け Windows よりも小さくて、機能が制限されていましたが、非力なハードウェア構成でも軽くてサクサク動作しました。

私も、2006 年(平成 18 年)W-ZERO3(WS003SH)を購入しました。

ウィルコム の PHS サービスで、通話と通信のパッケージでしたが、もちろん、ほとんど通話では使いませんでした。携帯の回線と違って、パケット使用中(ネット接続中)に電話が掛かってくると通話中になってしまい不便でした。128kbps で、使い放題契約が毎月 1 万円くらいだったと思いますが、当時は革新的なサービスでした。なにしろ固定回線でも OCN エコノミー(128kbps)が専用線で残っていた時代ですから、十分実用的な速度でした。



http://k-tai.impress.co.jp/cda/article/news_toppage/26175.html たしかア

キバのお店で新規加入の条件で 2 万円くらい、だったような。

息子が高校に入学して、いよいよ携帯を持つことになり、W-ZERO3 は息子(長男)に譲渡。

この W-ZERO3 シリーズは今思い出しても名機と思いますね。

こういう使用方法を想定していたのか分かりませんが、WindowsCE という OS が素晴らしかった。

組み込み用といいながら、かなりの部分でフルパッケージの Windows を意識して作りこまれていて、例えば動画再生用の RealPlayer などにも対応しており、驚くほど使えた、という感じでした。

とにかく、以前のパソコン(Windows95 のころの)が携帯かよ、と感じたことを覚えています。

スマートフォンなんて言葉が生まれる前でしたが、シャープっていう会社のいいところが出ていました。<ソフトバンク携帯も Windows>

このころになると地域や回線ごとに分かれていた携帯会社が統合されていきました。

NTT ドコモ、au、ソフトバンク、といういわゆる 3 社体制へ。

私もソフトバンクを使ってみよう、ということで X01HT を購入。2006 年(平成 18 年)年末でした。

でも評判とおり、田舎では通話エリアが狭くて、数ヶ月でギブアップでした。

山陰に入ると電話が切れるし、X01HT も画面が小さくて使いにくかったです。

でも Windows で WIFI 搭載だったので、W-ZERO3 と同様に PC とのファイル共有には便利だったなあ。



<防水で FOMA さらにカメラ付き>

2007 年(平成 19 年)1 月 19 日、やっぱり防水は便利だということで、SO902iWP+を購入。

まだソニーが携帯やっていた頃ですね(その後戻ってくることになろうとは. . .)。

ストレート型はほとんど死滅状態でしたが、小さくて使いやすかったですね、よく風呂でも使っていました。

買い換えた後も防水カメラとして使っていました。512MB のメモリースティック ProDuo を入れて。



http://k-tai.impress.co.jp/cda/article/showcase_top/30022.html

au が CASIO ブランドの防水携帯を販売していて、買いたくて悩んだけれど、やっとドコモからも、って感じでした。釣りや海に行くときとても便利でした、水洗いできたし。このころ息子(次男)も高校入学したので、ケータイを持たせるようになりました。

兄と同じく PHS で、Willcom の W-ZERO3 (WS007SH)es というモデル。

ところが当時の次男には使いこなせなかったようで、ドコモの普通の携帯に乗り換えました。

友達とのメールに絵文字が使えない、とか、そういう理由だったような. . .

長男いわく、「この便利さが分からない？ 不思議だ」と云っていました。

ということで端末は兄へと移動になりました。(ちょうど以前の機種種の液晶を割って壊したので)

<http://wiki.wince.ne.jp/W-ZERO3es>

<ドコモからも Windows ケータイ>

2008 年(平成 20 年)、いよいよドコモからも一般向けに Windows ケータイが発売となりました。

*それまでは業務用で symbian の M1000 のみでした。

<http://www.itmedia.co.jp/mobile/articles/0504/14/news032.html>

HT1100、Windows モバイル OS6 搭載の最新モデルでした。

<http://k-tai.impress.co.jp/cda/article/review/39918.html>

なんといっても、普通に PC メールが扱えるようになったことが便利だったですね。添付ファイルも OfficeMobile がインストールされていたので、普通に見られたし。

WindowsCE 系の OS だったので、豊富なソフト資産も便利だった。ビデオプレイヤーとか、いろいろありました。

それになんていっても、Windows のネットワークにそのまま参加できて、ファイル共有なども可能だったんです。

1GB の MicroSD を入れて、昔のビデオとか、動画も持ち歩いて外出先で見たものです。このころアメリカでは、BlackBerry が普及して、「スマートフォン」という名前もこの頃から。

通信速度も HSDPA が普及して速くなりました。〇〇@mopera.net の moperaU サービスもこのときから使っていますね。



発売されたら即購入しました。ドコモショップでも接続設定などが出来なくて、大変でした。

このころから私も携帯の機種変更が頻繁になってきましたね。

単なる電話機、から、日常生活とインターネットを繋ぐ端末、へと、大きく変化していきました。

<BlackBerry 日本上陸>

黒人初のアメリカ大統領バラック・オバマが使っていることで一躍有名になった BlackBerry が日本でも発売になりました。それも最新機種のポールドです。

2009 年(平成 21 年)、私も仕事用の携帯として購入しました。BlackBerryBold9000。

なんといってもフルキーボードに裏面は革シボ風のつくりで、高級感がありました。



BlackBerry の上陸は当時日本では大きな話題となりました。ちょうどソフトバンクが i-phone を取り扱い始めて、世界の携帯市場からガラパゴス化していた日本市場も大きく変化しようとしていました。

http://k-tai.impress.co.jp/cda/article/mobile_catchup/44889.html

<http://k-tai.impress.co.jp/cda/article/stapa/45655.html>

基本的に全てのメールサービスがプッシュで利用可能でとても便利でした。

当初は、こういう機能を提供する BlackBerry サービスが月額 ¥ 1500 くらいだったかな。

この機種以来仕事用はずっと BlackBerry です。なにより海外でもそのまま使えるのはとても便利です。

<まだまだ Windows ケータイだった>

時代はまだまだガラケー主流でしたが、スマートフォンを一度使えばガラケーには戻れません。

当時の最新技術を詰め込んだ、T-01A が発売されて、体調不良となっていた HT1100 から買い換えました。

2009 年(平成 21 年)、大画面と高速 CPU に感動しましたね、ホント。

感覚的には、速度、解像度など、Windows95 時代のパソコンと同じような印象でした(フリーズも?)。

普段からスマートフォンを使っている私からすれば、「こんな快適な携帯はない」と思いましたが、

周囲の盛り上がりはまだまだで、一般のユーザー向けでなくて「オタク」向け、みたいな状況でした。



これと BlackBerry があれば短期出張はパソコン要らず、となりました。

http://k-tai.impress.co.jp/cda/article/mobile_catchup/45227.html

画面で操作するソフトキーが採用されて、ほぼ現在のスマートフォンと同じ仕様になってきた機種ですね。

その後 Xperia へと買い換えたときに、息子(長男)に譲渡。しばらく使った後に故障して廃棄となりました。

この頃日本のメーカーがスマートフォンにシフトしてれば、今のような苦境に立つことはなかったかも。

<最初は Google ケータイ と呼ばれた (私のじゃないんですが)> [http://k-](http://k-tai.impress.co.jp/docs/news/20090701_298774.html)

[tai.impress.co.jp/docs/news/20090701_298774.html](http://k-tai.impress.co.jp/docs/news/20090701_298774.html)

インターネット検索の世界最大手、Google がスマートフォン用の OS を作っている、という情報がインターネットで話題となり、日本でもドコモから発売されました。

この最初の機種は、Google ケータイと呼ばれていました。正式名称は、HT-03A。

たまたま我が家でも女房が D902i からスマートフォンに替えたい、という時期でしたので、

2010 年(平成 22 年)、当時は Android も人気がなくて、ドコモショップで無料購入できる、ので購入しました。

Android は 1.6、アプリの数も少なくてまだまだ使い勝手が悪かったようです。

女房はほとんど使わずに(使えずに?)、その後 RegzaPhone (T-01D)に買い替えました。
端末はその後、息子(長男)へと譲渡されました。予備機として現在(2012)も使用している様子。



この後、Android は急速に普及します。

スマートフォン市場は、i-phone か、Android という時代に突入します。

ほとんどの携帯は Android を採用するしか道はないので、世界中のメーカーが Android 携帯を発売することになりました。

<いよいよ Android ソニエリ製品>

2010 年(平成 22 年)6 月、Android は 1.6 だったが、すぐ 2.1 にアップデートするということで、購入。画面はキレイだったが、使い慣れた Windows ケータイと比較しても、それほどいいとは感じなかった。当時は非公式だったテザリングなどのアプリが使えず、やはり日本メーカーは不便、と感じましたね。

この頃は現在と違って、インターネット通話のアプリには制限が掛かっていた不便でしたね(skype など)。

それでも Andorid を実際に使ってみて、使い勝手(通話やネット)から今後の主流になるな、と感じました。



http://k-tai.impress.co.jp/docs/review/20100401_357968.html このころか

ら i-phone と共に Android が急速に普及していきます。

テレビのコマーシャルなどもスマートフォン関連が急増して、世間でも話題となりました。

しばらく使用して息子(長男)に譲渡。今(2012)でも息子がメインで使用。

<小さくて便利だった 不人気機種>

BlackBerry も新機種が出たので、ということで交換しました、BlackBerryBold9700。

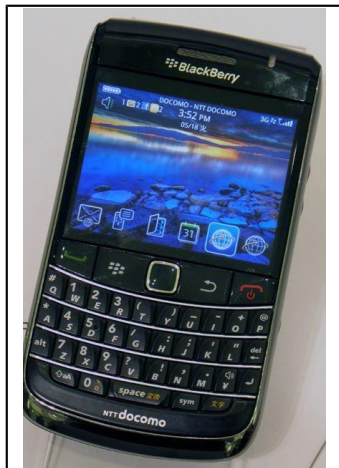
2010 年(平成 20 年)年末。

ところが、こいつが不人気だったようで、すぐ 9780 が出たり、この頃から RIM も i-phone と Android に押されて世界的におシェアを落として、経営も大変になってきました。

かつては、スマートフォンの代表だった RIM もどんどんシェアを落としているようで. . .。

http://k-tai.impress.co.jp/docs/news/20100518_367511.html

AppWorld や OS も結構頻繁にバージョンアップしていて、クレームも多かったようです。



私としては、小さくて軽くて、結構気に入っていたのですが. . .。

2012 年 5 月にソフトウェアクラッシュして、OS が起動できなくなり、9900 に交換。

その後自力で修復して、予備機になっています。(現在は、OS6.00)

<とうとう、テザリング解禁！ >

2011 年(平成 23 年)6 月、とうとうドコモでもテザリングが解禁に、ということで、即！買い換えました。

L-07C OtimusBright 韓国の LG 製で、シンプルなのが気に入りました。

購入当日、テザリングには SP モードの加入が必須なのが分からなくて、苦労しました。

http://k-tai.impress.co.jp/docs/news/20110516_445166.html

スマートフォンは野外の明るいところでは見難い、ってところを明るい液晶でカバーした製品です。

WiFi のテザリングはとても便利で、一度使ったら止められません。この後の機種はほぼ全部テザ対応へ。

少し前から au で skype が解禁となり(当初、別料金)、なし崩し的に各社とも解禁に。

携帯からも、いわゆるインターネット電話が利用可能となってきました。

各社ともスマホの売上が、端末・回線ともに主流となってきており、販売合戦が過熱してきました。

2012 年(平成 24 年)夏に海で塩をかぶったらしく、不調になって、修理。

直って戻ってきた現在は予備機になっています。(長男の予備機に)



このころから世間でも「スマホ」として、スマートフォンが一気に普及し始めました。

世の中 iPhone か Android か、って感じで、WindowsPhone とか他のスマホはあんまり売れてませんねー。

かつて世界を席巻した Nokia もすっかり凋落して、業界の勢力図は数年で変わってしまいました。＜大きくなっちゃった でも速いから許す＞

ソフトウェアクラッシュした 9700 から、BlackBerryBold9900 に買い換えました。2012 年(平成 24 年)5 月。

なにしろ仕事用なので、壊れたから修理では間に合わず。

今度のモデルは大きくて重くて使いにくいのですが、さすがに動作は快適です。

でも、中途半端にタッチパネルになったおかげで、少々使いにくくなったような気がします。

http://k-tai.impress.co.jp/docs/news/20111018_484461.html



他のスマートフォンとはちょっと違う、俺は BlackBerry だぜ、っていう感じがいいですね。

残念ながら日本ではあまり普及してなくて、今でも「それ、携帯ですか？」って聞かれることがある。

ドコモショップでも「珍しいですね」って云われるけど、こんな便利な携帯はないと思うんだけどなあ。

会社と一緒に経営しているパートナーも、「これは手放せない」って云ってますし。

相変わらずプッシュメールなども便利で、フルキーボードは使いやすいし、仕事用では最強でしょ。

ところが、RIM も経営不調となり、会社を身売りして...、いよいよサービスもどうなるのか、という状況になってきました。

なんとか、ニッチな世界で生き延びて欲しいものです。

今回の故障を機に、予備機を整備することにしました。

以前のように音声通話だけ、というなら、とりあえず動いている携帯なら何でもいい、だったのですが、

現在のように、ネット端末としてスケジュールやメールなども利用しているという状況では、故障すると仕事が止まってしまう、

という事態になりかねませんから。(パソコンと同じようになってきましたね)

<故障は大変 アキバでゲット>

L-07C が故障したので、仕方ないからとりあえず、ということで購入したのが、F-12C。

2011年の夏モデルで、Androidも2.3だったので、アキバで新古品をゲット。¥13,000でした。

箱から出してSIMを入れればすぐ使えたので、各種設定をして、必要なアプリを入れて、使用開始。

http://k-tai.impress.co.jp/docs/news/20111018_484461.html 久々に防水

の携帯となりました。シンプルで使いやすいですね。

2012年夏現在、これを個人用で使っています。



<念のためにもう一台>

某ルートから頂いた、P-01D。L-07Cと同時期の機種で、小さいけれど使いやすいです。

最近ではAndroidケータイも熟成されてきた感があります。メニューを含めてよく研究されています。

私の携帯の中で始めて、「テレビ付き」です。

http://k-tai.impress.co.jp/docs/showcase/20111125_493341.html



<現在 使用中 (2012年(平成24年)夏) > 電話会社は、docomo。

BlackBerryBold9900 (仕事用) F-

12C (個人用)

予備機

BlackBerryBold9700

P-01D L-

07C

女房

RegzaPhone T-01D

長男

Xperia SO-01B

次男

Samsung Galaxy S

いつのまにか 家族全員 Android <現在も生き残って(?)いる携帯たち

>



動くもの、動かないもの、いろいろありますが..。

追記

2017年3月現在

私 : WindowsPhone10 × 2台

家族 : 全員 iPhone

追記

2019年7月

私:L-02K / MO-01J (docomo)

女房:i-phoneXR (docomo)

息子 A:Android(SB) / i-phone(docomo)

息子 B:Android(YahooM)